



大谷地だより

Vol.92

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 岡田 義明
編集責任者 北星学園大学同窓会事務局
印刷 山藤三陽印刷株式会社

同窓会定期総会・懇親会のご案内

同窓会定期総会・懇親会を10月18日(土)にニューオータニイン札幌にて開催いたします。招待教員や現旧教職員も多数出席する予定ですので、ぜひ同窓生の皆様お集まりください。

美味しいお料理を囲みながら、普段なかなか会えない同窓生との再会・交流の場となれば幸いです。同期やサークルメンバーを誘ってぜひお申込みください。



昨年の懇親会の様子

- 日時▶10月18日(土) 定期総会 16:30~17:00
懇親会 17:30~19:30
- 会場▶ニューオータニイン札幌 2階 鶴の間
札幌市中央区北2条西1丁目1-1 TEL: 011-222-1111
- 会費▶3,000円(税込) 円卓での会食(アルコール付)です。
- 申込方法▶ご出席される方は、本学ホームページの「申込みフォーム」、メール等でお申込みください。ご欠席の連絡は不要です。
メールアドレス: dousoukai@hokusei.ac.jp
- 申込期限▶10月1日(水)
- 申込みフォーム▶

招待教員のご紹介

大坊郁夫先生は、1988年4月に文学部教授として着任され、その後社会福祉学部教授として2000年3月まで本学でご尽力いただきました。その後、他大学の教授・学長を経て、2018年4月から本学第12代学長として再び就任され、2024年3月に任期満了で退職されました。



大坊 郁夫 先生



濱 文章 先生

濱文章先生は、1991年4月に経済学部経済学科専任講師として着任され、2006年に教授に昇格されました。2025年3月に退職されるまで34年間本学でご尽力いただきました。



原島 正衛 先生

原島正衛先生は、1994年4月に経済学部経済学科専任講師として着任され、2004年に教授に昇格されました。2025年3月に退職されるまで31年間本学でご尽力いただきました。



退任ご挨拶

2期6年の任期満了により、退任いたします。お力添えをいただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。

2019年秋から会長を仰せつかりましたが、その4か月後にはコロナ禍が始まり、任期のうち半分は対面での親睦交流はできませんでした。パンデミックという特異な時代との巡り合わせで、同窓会の歴史の中でも稀な経験をさせていただきました。

皆さんと共に、同窓会を耕し、種を蒔いて参りましたが、役割を次の方々に引き継ぎます。役割が終わりに近づいたことを寂しく思うのではなく、納屋の収穫物をたまに取り出して(如何程のものか心もとないですが)、楽しかった思い出を振り返ることとします。

登山家でもあったヴィクトール・フランクルは南チロルへ登山に出かけたとき、ある村で出会った壁掛けの言葉に心を動かされ、終生、伝え続けたと言われております。

「輝く日々。それが過ぎ去ったことを寂しがるのはやめよう。その代わり、かつてそれがあったことを思い出して微笑もう。」

この言葉はフランクルをはじめ多くの人々が紹介していますが、ドイツの詩人Ludwig Jacobowski (1868-1900)の詩「Brilliant Days」(1899)の一節です。

Don't cry because they're gone! Smile because they have been!

ヤコボウスキーのこの言葉について、ある同窓生は「自分ならChallenge because they have been!と書く」と言っておりましたが、その方がこの度の役員改選で同窓会役員に就かれるようで、大変心強く思っております。

役員は退きますが、母校のチャレンジをこれからも応援しようと考えております。在任中の日々が「輝く日々」だったとは思いませんが、退任に当たり、同窓会のますますの発展を祈念するとともに、ヤコボウスキーの言葉を、ご挨拶の結びとさせていただきます。

同窓会長 岡田 義明

大谷地だよりの発行回数の変更について

日頃より同窓会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、会報誌を楽しみにいただいておりますことを感謝いたします。

このたび、郵送料、印刷代等の値上げりのため大谷地だよりの発行回数を年2回から1回へ変更することとなりました。

同窓会の活動内容やニュースにつきましてはリニューアルを予定しているホームページにて積極的に発信してまいります。

今後も大学の発展に寄与するために本会の健全な運営に尽力して参りますので、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

同窓会奨励生が決定しました。



奨励金授与式での集合写真 (中央が沖田さん)

「学内外で様々な活躍をし、同窓会活動に積極的に参加してくれる学生」を条件とし、今年度も同窓会奨励生を募集しました。提出された自己推薦文を基に審査を行い、2名の採用を決定しました。

6月18日(水)に本学学長室にて「奨励金授与式」を行い、同窓会長や学長と懇親の時を持つことができました。選ばれた学生たちが、同窓会奨励生として様々な活動や学習に励み、同窓会活動と一緒に盛り上げてくれることを期待しています。



挨拶をする沖田さん



歩み直した先で出会った夢

北星学園大学 文学部 英文学科 3年 沖田 享



このたび、北星学園大学同窓会奨励生に選出いただきましたこと、心より感謝申し上げます。文学部英文学科3年の沖田享と申します。

私は高校卒業後、一度別の大学に進学いたしましたが、実家を出ての初めての一人暮らしであったり、コロナ禍であったこともあり、自分のやりたいことや進路に迷いが生じ、二年で退学という選択を取りました。しかし、その後、改めて自分の関心や将来について深く考え直し、北星学園大学短期大学部に入学。そこで出会った先生方や仲間たちとの対話、学びの中で「もう一度きちんと学びたい」「英語とことばの本質を探究したい」という思いが強まり、四年制大学への編入を決意しました。

現在は、社会言語学ゼミに所属し、社会と言語のかかわりであったり、言語とアイデンティティのかかわりに関心を持ち、勉学に励んでいます。統語論など、言語そのものの仕組みを探る分野にも興味を持ち、理論的な背景を理解する努力も続けています。また、教職課程も履修しており、英語科教員としての資質を磨くため、日々の授業と実践の両面に真摯に取り組んでいます。試行錯誤の連続ではありますが、学び直しの中で得た経験は、過去の自分にはなかった視点や粘り強さを育んでくれていると実感しています。

今後は、本学の協定校であるアイルランド国立大学コーク校にて交換留学を行う予定です。現地では、ケルト諸語、特にアイルランド語や、言語学などを学びながら、アイルランドにおける言語政策、言語教育や人々の言語に対する態度など社会におけることばのあり方について理解を深めたいと考えています。実際の現場に身を置いて体験し、考えることで、自分の学びをより広く、深くしていきたいと思っています。

将来的には、英語教育の現場や大学院進学など、進路の可能性を広く見据えつつ、自分自身の興味と向き合いながら歩んでいきたいと思っています。そして、得た知識や経験を自分のためだけでなく、後輩や地域社会に還元できるような存在でありたいと願っています。同窓会を通じて、学年や学科を超えたつながりが築かれることの価値も、今改めて実感しています。

最後になりますが、本制度を支えてくださっているすべての同窓生の皆さまに心より御礼申し上げます。期待に応えられるよう、一日一日を大切に学んでまいります。



留学生とのバーベキュー (左奥が沖田さん)



「海外事情」のカナダ研修を終え修了証書をいただきました (右が沖田さん)



奨励生採用の喜びと抱負

北星学園大学短期大学部 英文学科 2年 田辺 美結



アカデミッククラス最終日に先生と (前列が田辺さん)



お土産屋さんでゲストと話している様子 (中央が田辺さん)

この度、同窓会奨励生に採用していただいたことを大変光栄に思います。ディズニープログラム参加への努力が認められた結果だと受け止めており、心から喜びを感じると同時に、大きな励みになりました。そして私自身の可能性を広げる大きな機会です。

私はこれまで、異文化交流や語学学習に積極的に取り組んできました。そして今までの活動を活かす最大の機会をもらうことができました。現在、フロリダ州にあるディズニーワールドで働きながらアメリカのビジネス慣行を学び、自分自身の社会性や多様性の向上に努めています。この貴重な経験を最大限に活かし、多くの知識や経験を積み、自分の視野を広げ、将来の道を切り開いていきたいと強く感じています。

新しい環境での大きな挑戦に不安を感じたり、困難に直面したりすることもありましたが、たくさんの方からサポートをしていただけてここまで来られました。この採用は支えてくださった皆様の支援のおかげです。そしてこれからは奨励生としての責任を自覚し、自分自身の成長とともに、交流の機会を大切にしていきたいです。

名誉教授授与式

6月11日(水)、大学チャペルにて名誉教授の称号授与式が執り行われ、長年本学に勤務し多大な貢献をされた濱文章先生、原島正衛先生、田実潔先生の3名に、中村学長より「北星学園大学名誉教授」の称号が授与されました。

濱文章先生は、1991年4月に経済学部経済学科専任講師として着任され、2006年に教授に昇格されました。研究分野は西洋経済史、アメリカ経済史、アメリカ労働史、アメリカ移民史、アメリカ経済論で、「基礎経済史」や「社会経済史」等を担当されました。教学運営委員長、経済学科長(2回)、高大連携推進委員長、広報委員長を歴任され、2025年3月に退職されるまで34年間本学でご尽力いただきました。

原島正衛先生は、1994年4月に経済学部経済学科専任講師として着任され、2004年に教授に昇格されました。研究分野はヨーロッパ経済論、オランダ社会経済史で、「メディアと社会」や「新聞活用」等を担当されました。経済学科長、教学運営副委員長、教学運営委員長、国際教育センター長、経済学部長、経済学研究科長、総合研究センター長を歴任され、2025年3月に退職されるまで31年間本学でご尽力いただきました。

田実潔先生は、2001年4月に社会福祉学部共通部門助教授として着任され、2007年に教授に昇格されました。ご専門は、障害児教育学で、「教職入門」や「障害児教育論」等を担当されました。教職部門長、アクセシビリティ支援室長、社会福祉学部長、社会福祉学研究科長を歴任され、2025年3月に退職されるまで24年間本学でご尽力いただきました。



名誉教授授与式集合写真 (前列右から4番目田実先生、5番目濱先生、6番目原島先生)

星学祭(10月12日(日))のお知らせ

本学にて、10月12日(日)に第64回星学祭(大学祭)を開催いたします。毎年恒例の学生による模擬店、餅まき、YOSAKOI、スペシャルゲストを招いた企画など盛りだくさんの内容を予定しております。より充実した大学祭にすべく、大学祭実行委員会でイベントを企画中です。星学祭は在学生のほか、一般の方もご来場いただけます。ご家族やご友人の皆様とお誘いあわせの上、ぜひお越しください。

なお、詳細なスケジュールや企画内容につきましては、決まり次第、随時大学公式HPや大学祭実行委員会運営のSNS(X、Instagram)にてご案内いたしますのでご確認ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



昨年度の餅まきの様子

体育祭報告

大学祭実行委員長 澁谷 綺星

今年度の体育祭は、昨年度から一部種目を変更しバレーボール・バドミントン・ミニサッカーを行いました。大変なこともありましたが、自分たちで一から企画し、運営する達成感は何ものにも代えがたい貴重な経験となりました。また、日常とは異なる特別な時間として、多くの学生が参加し白熱した試合に臨み、無事に終えられたことを大変嬉しく思っています。体育祭が成功した理由は、主に2つあります。

1つ目はルールの変更です。昨年はコートが1面だったため、参加できるチーム数が限られていましたが、ルールを変更しコートを2面にすることでより多くのチームが参加できるようになりました。その結果、試合数も増え、活気ある試合になりました。また、リーグ戦形式にしたことで、様々な特色を持つチームと対戦することができたと考えています。

2つ目は例年の良い取り組みを引き継いだことです。多くのチームに参加してもらうため、景品を事前に告知したり、先生方にご協力いただいて授業前に宣伝させていただいたりと体育祭のことを広める活動を行いました。その結果、参加チームが増え、多くの学生が良い思い出を残せたのではないかと思います。

最後に今年のスローガンは「ねばぎば〜 Never give up!〜」でした。このスローガンのとおり、参加した選手たちは本気で戦って勝利を掴み、私たちも最後まで諦めることなく協力し合い、大きな成功を収めることができました。来年も多くのの人に参加していただき、より素敵な体育祭になることを心より願っております。



2025年度 第3回大学公開講座について Extension lecture Hokusei Gakuen University

テーマ アートがもっと楽しくなる名画の裏話と鑑賞のポイント

講義概要	「歴史的名画」と言われる作品を見ても、何がそんなにいいのかわからない、美術館や展覧会に行ってもどう見ればいいかわからない、アート(美術)に対してそのような印象を持っている人は少なくないのではないのでしょうか。アートはもちろん自由に純粋に鑑賞してよいものですが、時代背景などの周辺知識を頭に入れておくことより楽しめるようになります。本講座では名画や芸術家にまつわるエピソードを交えながら、鑑賞に際して押さえておきたいポイントを解説します。		
講師	川部 大輔(短期大学部 教授)	受講対象	18歳以上で、本学で受講できる方(18歳未満でも高校生は受講可)
日程	10月24日(金)17:00~18:30(90分)	受講料	500円/人(高校生・大学生 100円/人)当日受付にて現金でお支払いください。
会場	北星学園大学 C館4階(予定)	申込締切日	10月3日(金)
定員	50人程度	申込方法	右記QRコードからお申込みください。



申込QRコード

2025年度 後期 北星オープンユニバーシティ講座のお知らせ

卒業生、一般社会人がともに学ぶための生涯学習プログラム(有料)です。懐かしいキャンパスやオンラインで学んでみませんか。

申込期間	8/20(水)~9/10(水)
受講料	卒業生の方 1,500円 / 回 一般の方 1,800円 / 回

※講座回数や詳細は「北星オープンユニバーシティHP」でご確認ください。

対面講座	大学内の教室で日中に開講します。本学への通学が必要です。
オンライン講座	ZOOMを利用し、夜間(19:00~等)に開講します。自宅等様々な場所で受講が可能です。

対面講座	講師	開講予定
1 フランス語入門	林 宏和(本学非常勤講師)	(金)13:00~14:30
2 英会話初級	ディビッド フレナー(本学非常勤講師)	(金)12:50~14:20
3 ハングル初級	八幡 早苗(本学非常勤講師)	(木)13:00~14:30
4 セリフで学ぶ韓国語	千 永柱(本学非常勤講師)	(金)13:00~14:30
オンライン講座	講師	開講予定
5 ゼロから始めるやさしい英会話	山岡 ゆう(英会話講師)	(水)18:00~19:30
6 シニアのための再チャレンジ英会話	山岡 ゆう(英会話講師)	(水)16:20~17:50
7 フレーズで覚えるやさしい英会話	山岡 ゆう(英会話講師)	(火)18:00~19:30
8 ドイツ語中級	ダニエル アーノルド(本学非常勤講師)	(木)19:00~20:30
9 フランス語初級	林 宏和(本学非常勤講師)	(水)19:00~20:30
10 フランス語中級	林 宏和(本学非常勤講師)	(火)19:00~20:30

オンライン講座	講師	開講予定
11 English Conversation (Level 2)	アラン ボゼア(本学非常勤講師)	(木)19:00~20:30
12 もっと知りたいフェアトレード	萱野 智篤(本学教授)	(水)19:00~20:30
13 ChatGPTを使ったJavaScriptプログラミング入門	関谷 成実(元本学非常勤講師)	(金)19:30~21:00
14 ラテン語 短文読解	足立 清人(本学教授)	(金)19:30~21:00
15 中国 SF の世界 ~韓松を読もう	山本 範子(本学教授)	(水)19:30~21:00

問合せ先 北星学園大学 社会連携センター(社会連携課内)
TEL: 011-891-2731
メール: open.univ@hokusei.ac.jp

※公募状況によっては開講しないこともあります。
※開講日・時間については現時点の予定ですので、変更する場合があります。



2025年各支部総会・懇親会のお知らせ

各支部にて総会・懇親会を開催いたします。お近くにお住まいの方はぜひお越しください。
日程が近づきましたら大学ホームページにてご確認ください。

支部名	日程	場所
旭川支部	8月23日(土) 総会17:30~ 懇親会18:00~	アートホテル旭川(旭川市7条通6丁目29番地2)
北見支部	8月24日(日) 総会17:00~ 懇親会17:30~	オホーツクピアファクトリー(北見市山下町2丁目2-2)
帯広支部	8月30日(土) 総会17:30~ 懇親会18:00~	十勝ガーデンズホテル(帯広市西2条南11丁目16)
釧路支部	8月31日(日) 総会17:00~ 懇親会17:30~	HOT SAUSE(ホットソース)(釧路市末広町7-2)
函館支部	9月6日(土) 総会17:45~ 懇親会18:30~	函館国際ホテル(函館市大手町5-10)
東京支部	11月8日(土) 総会懇親会15:00~	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(東京都千代田区九段北4-2-25)
千歳支部	11月22日(土) 総会17:30~ 懇親会18:00~ *設立30周年記念懇親会を行います	ANAクラウンプラザホテル千歳(千歳市北栄2丁目2番1号)

同窓会各支部連絡先

- 旭川支部(1983年発足) 支部長 西岡 将晴
090-7648-1997 kembuchi2000@yahoo.co.jp
- 帯広支部(1985年発足) 支部長 成田 啓介
0155-56-4706(特養札内寮)
mansei@cameo.plala.or.jp
- 北見支部(1987年発足) 支部長 結城 亨
連絡先は事務局長 境 達也 090-3893-4847
tatsuya.sakai@city.kitami.lg.jp
- 東京支部(1988年発足) 支部長 遠田 嘉憲
04-2949-6726 ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp
- 函館支部(1988年発足) 支部長 畑中 博史
090-3899-2485
hokusei.hakodatesibu.1988@gmail.com
- 釧路支部(1989年発足) 支部長 角 隆史
0154-65-9812 kaku4744@msn.com
- 千歳支部(1996年発足) 支部長 北村 昌樹
080-5727-9197 masalki9197@gmail.com

プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサートも回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。
これからも一層充実した内容に向けて努力したいと考えておりますので、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いします。



佐々木アンリ（ソプラノ）



石田敏明（ピアノ）

クリスマスコンサート
～星のささやき…素敵なクリスマスを貴方に～

声楽とピアノによる珠玉の演奏をお楽しみください。

日時：2025 年 12 月 6 日 (土) 午後 2 時から
会場：本学チャペル

演奏予定曲目

ドビュッシー：星の夜
シューベルト：アヴェ・マリア
ドビュッシー：月の光
バッハ：主よ、人の望みの喜びよ
ほか

コンサートの申込方法について

クリスマスコンサート

申込期間：11 月 25 日 (火)～12 月 4 日 (木)
定員になり次第締め切らせていただきます。
「クリスマスコンサート参加希望」と、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数を明記の上、北星学園大学ホームページの「申込みフォーム」、電話、E-mail でお申込みください。事前の整理券等は発行しませんので、お申込みされた方は当日直接会場へお越しください。

申込み・問合せ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西 2 丁目 3-1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL 011-891-2731
メール：dousoukai@hokusei.ac.jp

お願い 未就学児の入場はご遠慮ください。
公共の交通機関でお越しください。

コンサート
報告

パイプオルガンコンサート 北の星に向かって

去る5月24日（土）午後2時より第25代札幌コンサートホール専属オルガニストのファニー・クソーさんをお迎えし、本学チャペルにてパイプオルガンコンサートを開催しました。「北の星に向かって」のタイトルに込められた思いを、プログラムの曲目解説から深く受け止められた方が多かったことと思います。クソーさんの「選曲を楽しんでもらえますように」という覚えてたての日本語でのご挨拶がリラ冷えのチャペルに温かい空気をもたらしてくれました。北星チャペルでの演奏会で全曲、星や宇宙が意識されたプログラムは初めての経験でした。17世紀バロック時代の作曲家クープランの「修道院のためのミサ曲」から1部が始まり、モーツァルト「きらきら星変奏曲」、J.S. バッハ「パッサカリアとフーガハ短調」が演奏され、2部では1870年生まれのヴィエルヌ『幻想的小品集』より「太陽への賛歌」と「夕べの星」がまず演奏されました。続いて1932年生まれのJ.ウィリアムズの「スター・ウォーズ」の音楽と、1970年生まれのオーベルタンの「星のためのソナチネⅠ天を作る素材」「Ⅲ 惑星のエピローグ」が交互に演奏されました。

アンコールはバッハのプレリュード。やはり素晴らしかったです。バッハの時代にも私たちと同じような感動を味わった聴衆がいたことでしょう。

クープランから約4世紀。世紀を越え、宇宙の中に身を置くような厳粛な空気と音に満たされたひとときでした。美しく力強いパイプオルガンの響きに心洗われて帰途につかれた方も多かったことと思います。



同窓会プロジェクト委員募集

同窓生から広くプロジェクト委員を募集します。

- 活動内容
講演会・コンサートの企画、立案、実施、「大谷地だより」「プロジェクトからのお知らせ」紙面の作成
- 活動日
【例会】水曜日午前10時半から
年6回程度（不定期に臨時例会あり）
【講演会・コンサート実施日】年数回
興味、関心のある方はぜひ同窓会事務局までご連絡ください。

同窓会寄贈図書が展示されました！

同窓会から在学生への還元事業として図書館への図書寄贈を毎年行っており、今年もリクエストを募り司書課職員の協力のもと、在学生が親しみやすい図書やDVDを選定しました。その一部を紹介いたします。

本学図書館は、学外の方や高校生も利用可能です。ぜひこの機会に母校の図書館をご利用ください。利用の際は身分証明書と写真を持参し手続きが必要です。詳細は図書館ホームページよりご確認ください。



北星学園大学図書館QRコード→

2024 年度（同窓会年度） 同窓会寄贈図書一覧

図書	世界 99（上・下巻）
	ニューロンの生物物理 第2 版
	おもくない！ふとらない！スパイスとカレー入門
	対訳 ドイツ語で読む「魔の山」
	論理的観点から：論理と哲学をめぐる九章
	Wild Animals I Have Known
	Animal Heroes
	I'm So Happy You Are Here : Japanese Women Photographers from the 1950s to Now
	ペトラ・フォン・カントの苦い涙
	エレメンタリー ホームズ & ワトソン in NY
DVD・Blu-ray Disc 等	ミスト



卒業後調査回答のお願い

本調査は、社会で必要とされている能力やご経験、本学の教育に対するご意見等を卒業生の皆様にお伺いし、その結果を教育改善に活かすことで、教育の質向上を図ることを目的としています。
ぜひ、ご回答にご協力くださいますようお願いいたします。調査結果は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。ご不明な点等ございましたらIR 内部質保証課までお問い合わせください。
（TEL：011-891-2731）

1. 対象者 卒業後15年以内の卒業生
（2010年3月～2024年3月・9月に卒業された方）
2. 回答方法 QRコードを読み込み回答してください。
3. 回答期間 2025年9月30日(火)まで
4. 回答時間 7分程度



北星学園大学
同窓会つなぐ
同窓生へインタビュー

インタビュー：幹事 若原志津子（1998年3月経済学部経営情報学科卒業）

井川直人さん（2006年3月経済学部経済学科卒業）
洋風酒場「MEAT MAN」経営

Q1. 大学を卒業してから現在の仕事に至るまでを教えてください。

井川さん 新卒で砂川の化粧品メーカーに就職しました。当時はまだベンチャーで、会社をこれからみんなで盛り上げようという雰囲気があって、その1つの歯車になれたらと思って入社しました。6年目くらいから、社長をはじめ、みんなが自分の「好き」に夢中になって働いているのを見ているうちに、自分の「好き」はどこにあるのかなと考えるように…。会社も一緒に働いている人も好きだったんですけど、果たして自分の本当にやりたいことは何だろうと考えているうちに、このままここにいることは自分にとっては「逃げ」だと思ったんです。それで8年経ったとき、何をやると決めたわけでもなかったのですが退職。A3の紙に自分の好きなことをいっぱい書き出して、やれることを絞っていったら、「酒、料理、居酒屋」っていうのが残ったんです。大学時代に居酒屋でバイトしていたこともあり、最終的に自分の店を持ちたいと思いました。それで、滝川と札幌のフレンチレストラン、それから現在の前身の店で働き、2年前に権利譲渡してもらい独立し、洋風酒場「MEAT MAN」を経営しています。

Q2. 店を経営していて大変だと思うことは？

井川さん 経済学部だったせいか自然と利益のことを考え、数字を追ってしまうので、経営面で辛いというのは正直ないんです。集客できないなら、どうすれば人が来るか考えればいいだけです。売上を上げるためにお客さんが興味持ってくれそうなこと、売上になりそうなことを始めたいいので。でも、人を雇った際の人材育成が難しいと感じています。きめ細やかな接客ができるように人を育てるのって大変だなと思います。

Q3. 仕事でやりがいや喜びを感じるときは？

井川さん 嬉しいと思うのは、お客さんたちが楽しそうにしている様子を見た時ですね。やりがいを感じるのは、料理のリクエストをもらってそれを作った時ですね。「オマールエビが食べたい」



「パスタでこういうの作って」とか、期待に応えられた時に意外とやりがいを感じます。あとは、お客さんが「おいしいから自宅でもこういうのを作りたい」と言ってくれた時に、口頭で説明したり、レシピを教えたりすることがあるんです。やっていてよかったなと思います。

Q4. 北星学園大学での思い出を教えてください。

井川さん ラグビーサークルの思い出でしょうか。高校まで陸上部にいたんですけど、たまたまテレビでラグビーの試合を見てカッコいいなと思って入部しました。実は1年生のときに僕のせいで試合に負けたことがあったんですが、そのとき、みんな気を使って「お前のせいじゃないよ」って。またその優しさが逆に辛くて（笑）。あとは飲み会も多かったですね。今でもみんな繋がっていて、店にも先輩がよく来てくれます。

Q5. 在学生と同窓生へのメッセージをお願いします。

井川さん 在学生の皆さんへ：遊びも勉強も本気で取り組んだ方がいいと思います。そこで学んだことが直接的に影響するかどうか分かりませんが、本気で取り組んだという経験は生きていく上で必ず役に立つと思います。
同窓生の皆さんへ：みんなで集まりたいですね。私の店「MEAT MAN」は17人しか入りませんが、同窓生で集まって会合に使ってもらうとか貸切もOKですので、気軽に相談してもらえたらと思います。

西川祐樹さん（2007年3月経済学部経済法学科卒業）
ネクステージ株式会社

Q1. 大学卒業後から現在の仕事に至るまでを教えてください。

西川さん 新卒で株式会社リクルート北海道じやらんに営業職で入社し、8年半在籍しました。会社の人たちはみんな明るくて、成長意欲があって、すごく楽しかったですね。半年に1回面談があり、将来どうなりたいのか、それをいつ実行するのかを問われるんですが、自分では覚えていませんが、「30歳くらいで独立し、観光業界に何かしら寄与できる人間になりたい」と言っていたようです。ちょうど8年目の面談の時に、人事の方からそのことを言われ、そこから観光系で何をしようか考え始めました。観光やホテル業界は、大型の施設や設備を置いて回していく装置産業的な特徴を持つため、不動産の知識も必要。それで、1年間だけ外資系の不動産会社で仕事をさせてもらいました。その後、じゃらん時代の取引先の担当だった2人と一緒にネクステージ株式会社を立ち上げ、現在に至ります。

Q2. どのようなことを会社でされているのですか？

西川さん じゃらん時代に道内各地の観光や宿泊関係の方たちに育ててもらったので、何か恩返しができたらという思いから、観光地や旅館、ホテルの集客から労働環境の整備まで、あらゆる困りごとや課題を解決するお手伝いをさせてもらっています。社員には「距離の近い御用聞きでいよう」と話をしています。今は、システムで解決できる課題が半分くらい。あとは調整ごとが半分くらいでしょうか。イベント企画も立案から実施までを一気通貫でやっています。表に出ようと思っていないので、黒子として徹しています。

Q3. 仕事でやりがいや喜びを感じるときは？

西川さん たとえば、社長や役職者など上のポジションの方からいただいた課題に対して、僕たちが納品したものを実際に利用・活用した現場から感謝の言葉をいただくと、とても嬉しいですね。また、本州には自分たちと似たような会社はありますが、道内では競合がいらないと言われています。もちろん自分たちがいなくても観光地も旅館も回るのですが、自分たちが関わることでお客様の意識がちょっとだけレベルアップするのはやりがいに繋がりますね。

Q4. 北星学園大学での思い出を教えてください。

西川さん バイトに明け暮れていました。あとはスノーボードのサークルに入っていて、貸切バスを手配して滑りに行ったり、飲み会をしたり…。充実していました。

Q5. 在学生と同窓生へのメッセージをお願いします。

西川さん 在学生の皆さんへ：在学中の勉強は意味がないと思っていましたが、社会人になって、やってきた人とそうでない人の伸び方が全然違うと痛感しています。間違いなく在学中にきちんと勉強している人が伸びます。コミュニケーション能力が通るのはある一定のところまでで、最後はコツコツ積み上げてきたかどうかです。無駄に思うこともいざ社会に出ると使うことも案外多く、昔の自分に勉強しろよと言いたいくらいです。遊びは卒業してからでもできるので、勉強しておいた方がいいです。
同窓生の皆さんへ：健康に留意して、悪いことで有名にはならないように。月並みのことしか言えなくてすみません（笑）。

池田大地さん（2013年3月経済学部経営情報学科卒業）
障がい者リハビリ施設勤務

Q1. 北星学園大学を選んだ理由は？

池田さん まず、経営や情報系のことを学びたかったというのがひとつあります。ほかの大学にも経営や経済の学部はありましたが、高校生のときの自分は少し内気なタイプだったこともあり、穏やかな雰囲気の大学がいいなと考えていました。いろいろ調べていく中で、学生の質や学内の雰囲気が自分に合うのは北星かなと思い、進学を決めました。

Q2. 大学を卒業してから今の仕事に至るまでを教えてください。

池田さん 新卒で道南の信金に就職しました。地域貢献に繋がるような仕事がしたかったので、同じ金融機関でも大手銀行ではなく、地元密着の信金を選びました。営業もやっていたのですが、どうしても数字に追われることが増え、数字だけにとらわれない、もっと人への思いやりや寄り添いを大事にした仕事に就きたいと考えるようになり、30歳を機に信金を退職。興味のある業界へ行こうと、病院の事務を少し経験してから、障がい者施設で支援員になりました。その後体調を崩し退職しましたが、今は障がいのある方たちのリハビリ施設で事務の仕事をメインに、利用者さんのサポートなどもさせてもらっています。

Q3. 大学時代の一番の思い出は？

池田さん ボランティアサークルの活動ですね。一人暮らしの高齢者の方たちに向けて孤独死について考える寸劇を行ったり、大学周辺でゴミ拾いをしたり、障がいのある小・中学生と遠足行ったり、一緒にご飯を作ったり、色々な活動をしました。サークルでの経験が今の仕事にも繋がっています。社会福祉に興味を持つようになったのもこのサークルがきっかけです。

Q4. 今の仕事でやりがいや喜びを感じるときは？

池田さん 今は事務方がメインですが、施設に入所されている方や通所されている方と接する

ことも多く、実際に外出時にサポートとしてついて行くこともあるのですが、利用者さんとのちょっとしたやり取りの中で、「ありがとう」と言ってもらえると、うれしい気持ちになります。大学のボランティアサークルにいたときから変わらないのですが、困っている人に寄り添い、その人の役に立つことが自分の喜びです。結果としてそれがやりがいにもつながっていると思います。利用者の方の中には意思疎通が難しい方やメンタルが安定していない方もいらっしゃって、どう上手に信頼関係を築いていくかが常に課題です。息詰まった時は、趣味の料理に打ち込んだり、音楽を聴いたりしてリフレッシュするようにしています。

Q5. 在学生と同窓生へのメッセージをお願いします。

池田さん 在学生の皆さんへ：就職に関してつい安定志向になり、自分の希望と異なるほうを選択する人もいるかと思いますが、本当に自分のやりたいことをやってみるのもいいと思います。自分が社会人になって思うのは、人生は波乱万丈でも案外面白いということ。恐れずに挑戦してみてください。
同窓生の皆さんへ：今後も同窓会を通じて大先輩の方たちと交流させていただきながら、社会人としてステップアップしていきたいです。また、北星の発展に少しでも貢献できたら嬉しいと思います。よろしくをお願いします。



Hokusei Gakuen University | School of International Studies | Department of Global Innovation

国際学部グローバル・イノベーション学科 2026 年 4 月新設

ー 国際学部グローバル・イノベーション学科設置に向けて ー

国際学部グローバル・イノベーション学科では、今後ますます多様化・複雑化する国際社会を主体的に生き抜き、リードしていくグローバル人材の育成を目指しています。本学科の学びは、イノベーション思考を軸に、経済・経営・人文・国際といった複数分野を融合させた、これまでにない新しい教育を展開するものです。

中でも特筆すべきは、課題解決のための発想力や企画力を育むための新たな科目群の開設です。さらに、国際教養や国際ビジネスに加え、英語を使つてのプロジェクト型学習やインターンシップなど、地域や社会、さらに海外と連携した実践的な教育プログラムも充実させていきます。

この新学科設置に至るまでには、長い時間と多くのエネルギーが費やされました。ワーキンググループの立ち上げに始まり、国際系学科設置検討委員会、国際学部設置準備委員会といった段階を経て、学内の多くの教職員の皆さまのご協力を得ながら、着実に準備が進められています。学生へのヒアリングや、学科の教育内容に対して専門的なご助言をくださった教員の方々の存在も、大きな力となりました。

また学外においても、高等学校の先生方、北星英研（本学の卒業生である現役の英語教員）の皆さま、企業や団体の方々から貴重なご意見やご助言をいただきました。青山学院大学では、かつて本学にご在籍された末田清子先生を訪ね、国際教育に関するさまざまなご示唆をいただく機会にも恵まれました。さらには、地域の企業や団体ともご縁を結び、今後のグローバル・イノベーション教育の可能性について意見を交わす機会をいただきました。これらすべての出会いは、私たちににとって大きな刺激と喜びに満ちた経験でした。心より感謝申し上げます。

振り返れば、この新学科設置に向けた過程そのものが、私たちが学生に提供したいと考える「4つの学びのステップ」に重なるものでした。ステップ1「国際社会を知る」、ステップ2「価値を見つける」、ステップ3「企画する」、そして今後迎えるステップ4「実行し、経験を積む」です。

これから新たに加わる教員陣、多様な専門性を持つ非常勤講師、そして2026年4月に入学する新入生とともに、どのようなイノベーションが本学に芽吹くのか、また、大学全体にどのような新しい風を吹き込むのか、今から楽しみでなりません。

国際学部長 森越 京子(予定)

国際学部
グローバル・
イノベーション学科

hokuseidousoukai

同窓会 Instagram/Facebook に
参加しませんか？

同窓会ではInstagramとFacebookのSNSを活用しております。
SNSではリアルタイムで同窓会や大学の様子、活動を知ることができます。
皆様のフォロー、DMやコメント、いいね！をお待ちしております。

Instagram

Facebook

北星学園大学同窓会 (交...)

Shakairenkei Hokusei

2025年度 同窓会奨励金授与式

同窓会費からも既にご報告がありましたが、先... もっと見る

【メールアドレスの登録を
お願いします!】

同窓会事務局では、郵便料金の値上がりを受け、大谷地だよりのお届け方法を郵送だけではなく、メール等で配信することを検討しています。
今後、メールでの受け取りを希望される方は、ぜひこの機会にメールアドレス登録フォームから登録をお願いします。

なお、まだ検討段階ですので、しばらくは郵送のみのお届けとなりますことをご了承願います。

北星学園大学バスケットボール部創部60周年記念
OB・OG会開催のご案内

日 時 2025年9月14日 日曜日 16時から

場 所 札幌市中央区北2西1 ニューオータニイン札幌

会 費 9000円

創部60周年を記念してOB・OG会を開催いたします。
バスケットボール部OB・OGの方をお誘いあわせの上、是非ご参加ください。
ご参加をご希望される方は下記のいずれかの方法でご連絡ください。

締切日 2025年9月7日 日曜日

連絡先 伊藤速人 携帯電話 090-9431-6642

LINE

Instagram

hokuseibasketballob で検索

歴代表幹事：高野宣行 高橋卓三
発 起 人：伊藤速人 前田拓実 武田幸己 黒江大介
伊藤友香理 波多野雅人 荒木宣博 木田智也

開学60周年記念ワイン『+sparkle』完成しました。

- 開学60周年にあたる2022年に収穫された葡萄「シャルドネ」を使用しています。
- 瓶詰め作業、ラベルデザイン、澱抜き作業、ラベル貼り作業は学生も参加しました。
- より味わい豊かに・高品質に仕上げるため、発酵期間を延ばし、完成を2025年春頃に延期しました。

お待たせしてしまい申し訳ございませんでした。

今回の60周年ワインは、伝統的な製法でつくったスパークリングワインです。
長い時間と丁寧な手仕事が生み出す、のびやかな酸と上品なコク、涼やかな色と奥深い味わいが特徴です。
こちらは寄付の返礼品としてお贈りさせていただきます。

寄付ページ

ワイン作りに参加した学生たち

ブルース・ガットラヴィ氏を囲んで

澱について学ぶ様子

【住所変更をお忘れなく!】
～同封のはがきは切手不要です～

住所不明となっている卒業生が増えております!!本学ホームページの住所変更フォーム、メール・FAX・郵送・電話にて住所変更を受付けておりますのでご協力をお願いします。また、メールアドレスの登録も新たに受付けております。ぜひ登録をお願いします。

北星学園大学同窓会事務局（社会連携課内）
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
TEL：011-891-2731 FAX：011-896-8311
E-mail：dousoukai@hokusei.ac.jp

住所変更フォーム

寄付者ご芳名一覧

2025年2月1日から2025年6月30日まで
(敬称略・順不同)

白髭 のぞみ 川井 久美子

古川 敬康 日興美装工業株式会社

小堀 貴子 佐瀬 一文

匿名希望4名

※ご芳名の掲載は、本学へ入金された日で集計しております。(インターネットからクレジット決済でご寄付をされた場合、本学への入金が確認されるまで通常1～2か月程度を要します。

編集後記

北海道の夏も年々日差しが強い日が増えてきました。同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は、10月18日(土)に年に一度の定期総会・懇親会をニューオータニイン札幌で開催いたします。ぜひこの機会に同期やサークルメンバーをお誘い合わせのうえ、ご参加ください。申込締切は10/1(水)です。会場にてお待ちしております。

(同窓会事務局 西藤・川田)